

## 12月14日 ふたご座流星群観測記録及び、観測報告書

### 1. 観測記録

#### 【観測時の情報】

観測時刻(24 時間表記): 22:00~23:28

観測時の天気: 曇り

観測時の気圧: 1023.2hPa (mBar) [2023 年 12 月 14 日 22:00 時点]

観測時の気温: 10.9 [2023 年 12 月 14 日 22:00 時点]

観測時の総雲量(八分雲量): 7~8 分を推移(ただし、8 分が多め)

#### 【観測情報】

観測した方角(16 方位・アルファベット表記): WNW

観測記録のファイル名(連携ファイル記入・「/」…IN):

《直接本書に記入は行っていません》

メモ記入欄:

21 時 57 分 21 時より雲が増し、観測が難航する予想

22 時 00 分 観測を開始(かろうじて観測ができる状況)

22 時 24 分 観測不可(8 分、雲に覆われ星の観測ができない状態)

23 時 04 分 観測なし(雲量が少なくなり観測がかろうじてできる状況)

23 時 28 分 観測終了(以降、雲量が増す予想のため観測を中止した)

## 2. ふたご座流星群の観測に関する報告

### 内容

2023 年 12 月 14 日 22 時 00 分より開始したふたご座流星群の観測に関する報告である。

### 結果

観測時間内に当該観測場所においてふたご座流星群の観測はできなかった。

また、当該観測場所では、観測はできなかったが、北海道、福島県、沖縄県では、観測ができていることから、観測時間内に、ふたご座流星群が流れていたことは間違いない。

### 考察

結果で申し上げた通り、観測時間内に、ふたご座流星群は流れていたことが間違いないこと。また、ふたご座流星群は、あらゆる方向から観測ができる（ふたご座側が、流星群は多く流れる）。よって、観測できなかった理由としては、観測した方角や、時間帯の問題ではなく、雲の厚さ、量によるものだ。

観測日の平均雲量は、8.0(東京)だったことから、先ほどの結論を裏付けるものとなる。

### 3. 参考文献

本書作成に使用した、サイトは以下の通りです。

各サイトの管理者・管理会社には、お礼申し上げます。

気象庁 | 最新の気象データ

「<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/merry/synopday/data2s.html>」